

たすけあい名古屋

通信第135号

あっと言う間の20年



「たすけあい名古屋」はこの7月で設立20周年を迎えます。10年ひと昔と言いますから実にふた昔もの前のこととなります。1997年は「安室奈美恵さんの歌」や宮崎駿監督の「もののけ姫」が流行った年です。いずれも記憶に新しいとの認識でしたが、すでに20年も経ってしまっているのですね。

来るべき超高齢化社会の到来を見越して、地域での相互助け合い活動を始めてから早20年。当時の高齢比率は約16%、現在の名古屋市の高齢比率が約25%ですから、高齢者の比率はかつて6人に1人から今では4人に1人へと変わってきています。鳴子地域だけを見ると約2.5人に1人が高齢者という社会になっています。

この様な高齢社会の訪れは判っていたこととはいえ、それが現実に目の前に迫って来ると問題の大きさに困惑してしまいます。地域に目をやると、UR鳴子団地はその半分が取り壊し建て替え、または更地化して分譲宅地化と、かつては多くの人々で賑わった街並みも大きく変わりつつあります。新しい商店が出来、街並みは新しくなり、新しい住人も少しずつ増えています。

とはいえ、長く地域で暮らしてきた方は高齢者となり、老夫婦のみ又は独居となられるのが多い現状です。地域でのお互い様の助け合いも、担い手、受け手夫々が高齢化している中で、新しい住人も巻き込んだ新しい形の地域助け合いの輪を作ることが求められています。

第20期の定時総会を5月29日に開催しました。平成28年度の事業報告、平成29年度の事業計画・予算他が審議されました。平成28年度決算は概ね次のとおりです。内容的には介護保険関連事業の成績が大きく落ち込んでいます。たすけあい名古屋一同、これからもなお一層地域の人達が安心して暮らせるように努力していきます。平成29年度は事業立て直しに向けての正念場の年になります。皆様方からのご指導・ご支援をお願い申し上げます。

平成28年度決算

単位：万円	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度予算
収 益	30,903	30,839	24,537
費 用	29,888	29,745	24,417
収 支	1,015	1,094	120

(代表理事 西川 達夫)

介護みどり 研修

5月の介護みどりの研修テーマは、「住宅改修と福祉用具（車いす）」でした。

講師は、(株)フロンティア名古屋南営業所の谷垣様と飛田様で、デモンストレーション用に最新の車いす2台も準備していただきました。住宅改修は、まず、実際に住んでいる方の「思い入れ」があるので、その思いを汲み取って安全に安心して暮らせる改修プランを立てているということでした。



介護保険を使つての住宅改修の種類には、①手すりの取付、②段差の解消、③滑りの防止及び移動の円滑化等のための床または通路面の材料の変更、④引き戸等へのドアの取替え、⑤洋式便器等への便器の取替え、⑥これら①から⑤に付帯して必要となる改修があります。対象の方は、要支援1から要介護5と認定された方で、支給限度基準額は、改修に要した費用として上限20万円です。この内、1割または2割が自己負担となります。



住宅改修は出席者の関心も高く、改修事例紹介のところでは積極的な質問が出ました。

質問のいくつかを抜粋しますと、

- ㊦ 風呂場の引き戸を折り戸にすることはできるか？
- ㊧ 玄関先の段差を解消するためにはどうしたらいいか？
- ㊨ 壁がうすくて、手すりをつけられない場合どうするか？

㊦㊧㊨の全て住宅改修が可能です。

㊧は段差の解消にはスロープや踏み台をつけたりし、レンタルのスロープもあります。

㊨は壁がうすくても下地をつければ可能です。

など、答えを頂きました。

また、「車いす」ですが、移動の道具としてだけでなく、座る機能も重要な要素であり、安定した座位姿勢が重要で、そのためには次の4つが大切なポイントと教わりました。

- ① 座面の奥行き、②座面の幅、③アームサポートの高さ、④フットレッグサポートの長さ。



2台の車いすを使った実習では、座位や座り心地を体感することができました。そして実際に座った車椅子の座面圧の測定もしました。痩せている方の圧力分布を実際の画像でみることができ、褥瘡の予防にも必要な車いすのクッションの選定の見極めに役立ちます。

このような色々な体験ができ非常に有意義な研修となりました。貴重な時間を割いていただいた株式会社フロンティア様、ありがとうございました。

なお、ご利用のご相談などは、ケアマネジャーまでお願い致します。

(介護みどり 管理者 岡田 耕一、
サービス提供責任者 山田 夕子)

鳴子のおひさまだよ

「鳴子のおひさま」では、介護福祉機器助成制度の支援を受け、この度「シャワーストレッチャー」を導入しました。

ご利用者の身体的状況にあわせてご利用いただけ、座位が保てない方も寝たまま介助でき身体の負担も少なく気持ちよく入浴できます。移乗などでは職員の身体的負担も軽減でき、ご利用者も安全です。

その成果が期待されます。

(鳴子のおひさま 管理者 坂倉 行人)



シャワーストレッチャー

デイサービス鳴子だよ



新緑のまぶしい5月。デイサービス鳴子では、近くのお店への「散歩&お買い物」を企画いたしました。ご利用者の中には、普段ご自身だけでは、買い物に出かけられない方もいらっしゃいます。皆さん、「こんなものがあるの!？」と、目をキラキラと輝かせながら、店内をまわられていました。

(デイサービス鳴子 岡戸 まゆみ)



笑顔が
素敵!



障がい者総合支援だよ



名古屋城

生活介護のん・たんととの春のレクリエーションとして、例年より少し遅い桜の満開時期に合わせて、「名古屋城春の陣」というイベントに参加してきました。

天気は曇りでしたが、空を見ると桜色で埋め尽くされ、「きれい…」というつぶやきがあちこちから聞こえてきます。

戦国武将隊のメンバーを見つけ、名古屋城をバックに記念の一枚。昼食はきしめんや味噌カツなど、それぞれがお好きな物を選んで頂きました。外食も外出もお好きなご利用者が多く、職員ともども大満足の日になりました。

噂の本丸御殿も想像以上です。季節ごとのお出掛け先としての名古屋城は、オススメです!

(生活介護のん・たんと 松元 泉)

天白福祉会館だより



29年度が始まり早6月になりました。

“天白福祉会館の場所はわかりにくい”と昨年暮れの「福祉会館めぐり」で来られた方々に言われて、対策を考えました。まず、壊れかけた案内板を直したり、会館周りに案内板を四方に掲示したりしましたが、まだわかりにくいとの意見が多くありました。そこで、電柱看板を数か所設置しようと思案しました。

5月下旬に、バス停からわかりやすく、人も車も見やすい3か所に設置しました。設置



後、ご利用者から意見を聞いてみましたが、気がつかない人がほとんどでした。いつも通っているのに改めて電柱看板を見ることはないとのこと。確かに福祉会館を知らない人のために掲げた電柱広告看板ですから「あの看板を見て直ぐにわかったよ。」と言われるまで気を長くして待つことにしました。

6月はほかに、10台のエアコンのクリーニング、館内ワックスがけ清掃、男女トイレ清掃、館内掲示板の2か所増設と、夏前にできる環境整備を行います。

(天白福祉会館 館長 各務芳春)

第20回 グラウンドゴルフ大会 開催

5月20日(土)、参加者26人で開催し大いに盛り上がりました。

当日は天気も快晴で参加者全員大張り切り。9時半開始にもかかわらず、8時半頃から集まり早くもやる気満々でした。

1～3位、飛び賞、ブービー賞の表彰と参加賞もあり、元気ハツラツで楽しい1日を過ごしました。「次回が待ち遠しい。」との声も聞かれました。

(指導責任者 吉葉 俊治)



長根台公園にて 集合写真

ホームページをご覧ください

たすけあい名古屋 検索



特定非営利活動法人(認定NPO法人) たすけあい名古屋

代表理事 西川 達夫

〒458-0041 名古屋市緑区鳴子町四丁目13番地 愛知県住宅供給公社鳴子第1住宅

TEL 052-899-0833 FAX 052-899-0800

Eメールアドレス : info@tasukeainagoya.com